

子供たちに伝えたい 日本の良さ

令和2年1月発行（第48号）

東京都教育庁指導部指導企画課
教育経営・教育課程担当

元号が平成から令和に変わり、初めての正月を迎えました。この間、様々な場面で令和という元号が用いられ、今では、すっかり日常生活に浸透しています。元号は、我が国の国民生活と密接に関わり、長い歴史の中で脈々と引き継がれてきたものの一つです。

そこで、今回は、令和に改元された手順と、令和の由来となった万葉集を取り上げます。

令和のはじまり

改元の手順

元号は、元号法に基づき、元号を改める政令によって、改元されることとなっています。今回の改元は、以下の手順で進められました。

① 内閣総理大臣は、高い識見を有する方を選び、これらの方に、次の元号とするのにふさわしい候補名の考案を委嘱する（3月14日）。

② 内閣官房長官は、考案者から提出された候補名について、検討及び整理し、その結果を内閣総理大臣に報告する。

候補名の検討及び整理に当たっての留意事項

- ア 国民の理想としてふさわしいようなよい意味を持つものであること
- イ 漢字2字であること
- ウ 書きやすいこと
- エ 読みやすいこと
- オ これまでに元号又はおくり名として用いられたものでないこと
- カ 俗用されているものでないこと

「元号選定手続について」（昭和54年10月23日閣議報告 昭和64年1月7日一部改正）より一部抜粋

③ 内閣総理大臣の指示により、内閣官房長官は、内閣法制局長官の意見を聴いて、新元号の原案として数個の案を選定する。

④ 内閣官房長官は、各界の有識者の参集を得て、元号に関する懇談会を開催し、新元号の原案につき意見を求め、その結果を内閣総理大臣に報告するものとする。（4月1日）

元号に関する懇談会

上田良一	日本放送協会会長
大久保好男	一般社団法人日本民間放送連盟会長
鎌田薫	日本私立大学団体連合会会長
榊原定征	一般社団法人日本経済団体連合会名誉会長
白石興二郎	一般社団法人日本新聞協会会長
寺田逸郎	前最高裁判所長官
林真理子	作家
宮崎緑	千葉商科大学国際教養学部長
山中伸弥	京都大学 iPS 細胞研究所所長

⑤ 内閣総理大臣は、新元号の原案について衆議院の議長及び副議長並びに参議院の議長及び副議長である者に連絡し、意見を伺う。

⑥ 全閣僚会議において、新元号の原案について協議する。

⑦ 閣議において、改元の政令を決定する。

⑧ 内閣官房長官会見（新元号の公表）

⑨ 内閣総理大臣会見（新元号の意義などに関する総理談話）



官房長官会見時の墨書

出典：内閣府大臣官房総務課ホームページより引用

令和の出典引用やその意味

令和ということばは、万葉集より引用され、「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という意味が込められています。4月1日に発表された内閣総理大臣談話には、以下のように述べられています。

内閣総理大臣談話

本日、元号を改める政令を閣議決定いたしました。新しい元号は「令和」であります。

これは、万葉集にある「初春の令月にして気淑く風和ぎ梅は鏡前の粉を披き蘭は珮後の香を薫す」との文言から引用したものであります。そして、この「令和」には、人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ、という意味が込められております。

万葉集は、千二百年余りに編纂された日本最古の歌集であるとともに、天皇や皇族、貴族だけでなく、防人や農民まで、幅広い階層の人々が詠んだ歌が収められ、我が国の豊かな国民文化と長い伝統を象徴する国書であります。

悠久の歴史と薫り高き文化、四季折々の美しい自然。こうした日本の国柄を、しっかりと次の時代へと引き継いでいく。厳しい寒さの後に春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように、一人ひとりの日本人が、明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる。そうした日本でありたい、との願いを込め、「令和」に決定いたしました。文化を育み、自然の美しさを愛でることができる平和な日々に、心からの感謝の念を抱きながら、希望に満ち溢れた新しい時代を、国民の皆様と共に切り拓いていく。新元号の決定にあたり、その決意を新たにしております。

五月一日に皇太子殿下が御即位され、その日以降、この新しい元号が用いられることとなりますが、国民各位の御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。政府としても、ほぼ二百年ぶりとなる、歴史的な皇位の継承が恙なく行われ、国民こそって寿ぐことができるよう、その準備に万全を期してまいります。

元号は、皇室の長い伝統と、国家の安泰と国民の幸福への深い願いとともに、千四百年近くにわたる我が国の歴史を紡いできました。日本人の心情に溶け込み、日本国民の精神的な一体感を支えるものともなっています。この新しい元号も、広く国民に受け入れられ、日本人の生活の中に深く根ざしていくことを心から願っております。

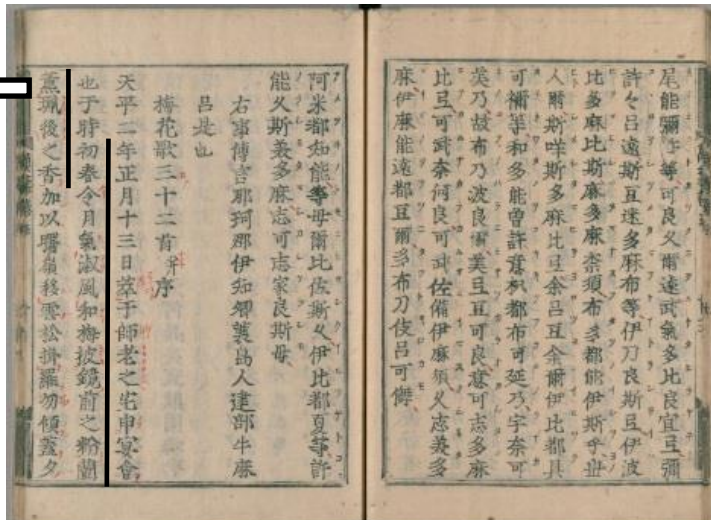
万葉集と大伴旅人 令和の元号の引用元となった万葉集について、紹介します。

万葉集の引用部分について

「万葉集」は、8世紀後半ごろに成立した日本最古の歌集と言われ、約 4500 首の歌が収められています。天皇・皇族をはじめ、貴族など上流階級の人々だけでなく、^{さまもり}防人や農民まで、幅広い階層の人々が詠んだ歌が収められており、日本の豊かな文化と長い伝統を象徴する歌集です。

【書下し文】
 初春の令月にして、
 気淑く風和ぎ。
 梅は鏡前の粉を抜き、
 蘭は珮後の香を薫す。

【漢文】
 初春令月氣淑風和
 梅披鏡前之粉蘭薰珮後之香



万葉集 20 卷[5]の写本 令和の根拠となった箇所 出典：国立国会図書館デジタルコレクション

万葉集 20 巻第五の部分が引用され、令和という新しい元号ができました。万葉集が書かれたこの時代には、ひらがな・カタカナは存在しませんでした。そのため、漢文が用いられたり、漢字で日本語の音を表す「万葉仮名」が用いられたりしています。上の引用部分は漢文で書かれています。

調べてみよう 万葉仮名には、どんな種類があったのだろうか。

大伴旅人について

7世紀後半から12世紀前半までにかけて筑前（現在の福岡県の一部）に地方最大の役所「大宰府」が置かれ、西海道（九州一帯）の統治、対外交流の窓口、軍事防衛の拠点という重要な役割を担っていました。大宰府の長官は^{ださいのそち}大宰帥と呼ばれ、^{おおとものたびと}大伴旅人は727年ごろ大宰府へ赴任しました。大伴旅人は政治家としてだけでなく、歌人としても才を発揮した人物で、赴任した大宰府においても文人たちと^{やまのうえのおくら}交わり、山上憶良らと共に優れた歌を残しました。後に「筑紫万葉歌壇」と呼ばれる華やかな万葉文化が、大宰府の地に花開いたのです。

天平2年（730年）正月13日、大伴旅人は自身の邸宅に大宰府や九州諸国の役人らを招いて宴を開催しました。当時、中国から渡来した大変高貴な花であった梅をテーマに歌を詠んだことから「梅花の宴」と呼ばれています。元号「令和」の典拠となった文言は、この「梅花の宴」で詠まれた32首の歌の序文になります。

大宰府展示館について



製作 山村延燐



万葉集の写本展示

福岡県太宰府市の「大宰府展示館」には、博多人形師 山村延燐（のぶあき）氏が製作した博多人形による「梅花の宴」の再現展示、万葉集の写本展示があります。 所蔵 公益財団法人古都大宰府保存協会

参考：律令制下の役所を指す場合は「大宰府」と「大」を用い、現在の行政名「太宰府市」や「太宰府天満宮」では「太」を用いています。（太宰府市役所ホームページより）

関連書籍・イベント等紹介

万葉集の歌を知る体験プログラム



太宰府市地域活性化複合施設
「太宰府館」



太宰府市にある大伴旅人の歌碑

福岡県太宰府市にある地域活性化複合施設「太宰府館」で実施されている一般・修学旅行向けの体験プログラム「万葉歌碑体験」

体験可能日:

水曜日(太宰府館休館日)を除く毎日

体験可能時間:

10時から16時頃まで

インストラクター:

大宰府万葉会

体験経費: 一人当たり500円

申込みについて:

1か月前まで

改元を記念して販売されたフレーム切手

「祝 改元記念」



日本郵便株式会社 「令和」に関するフレーム切手
平成31年4月26日発行

改元を記念して販売された貨幣セット



【テーマにおける引用・参考文献資料、写真提供】

- 「改元の手順」・「官房長官会見時の墨書」: 内閣官房内閣広報室ホームページ・内閣府大臣官房総務課
https://www.kantei.go.jp/jp/headline/singengou/singengou_sentei.html
<https://www.cao.go.jp/others/soumu/gengou/pdf/reiwabokusyo2.pdf>
- 「万葉集 20巻[5]」: 国立国会図書館デジタルコレクション
<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2544287?tocOpened=1>
- 「万葉集と大伴旅人」・「太宰府展示館について」: 太宰府市役所ホームページ・公益財団法人古都大宰府保存協会
<http://www.city.dazaifu.lg.jp/material/files/group/1/reiwa.pdf>
<https://www.kotodazaifu.net/pavilion>
- 「万葉歌碑体験プログラム」: 太宰府市役所 地域活性化複合施設「太宰府館」ホームページ
<http://www.city.dazaifu.lg.jp/kanko/dazaifukan/annai/4996.html>
- 「改元を記念して販売されたフレーム切手」: 日本郵便株式会社ホームページ
https://www.post.japanpost.jp/notification/pressrelease/2019/00_honsha/0419_02.html
- 「改元を記念して販売された貨幣セット」: 独立行政法人造幣局ホームページ
https://www.mint.go.jp/shintyaku/sale/hanbai_r1_kinenbi.html#page

※ 本資料に対する御意見・御感想、本資料の活用実践等がありましたら、右記担当へ御連絡ください。今後の資料作成の参考とさせていただきます。

【担当】東京都教育庁指導部指導企画課
 電話 03-5320-6869
 ファクシミリ 03-5388-1733